

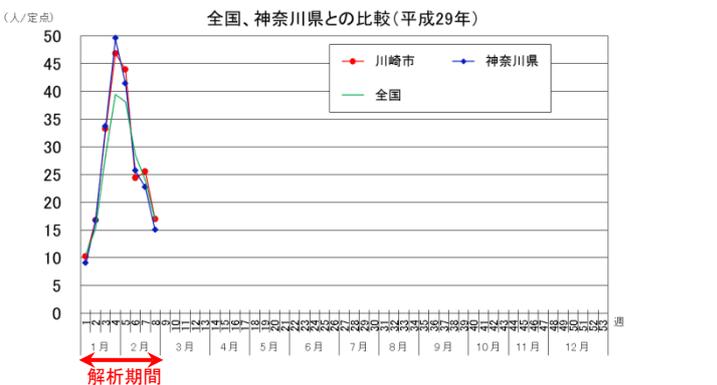
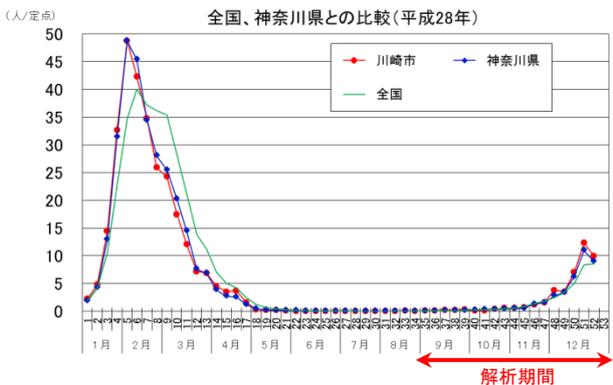
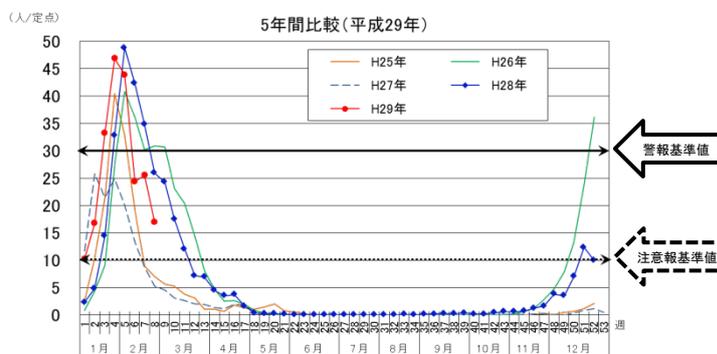
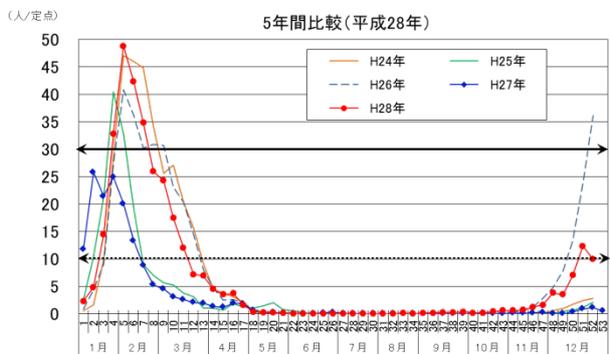
# 定点把握疾患の届出状況(平成 28 年 9 月～平成 29 年 2 月)

## <インフルエンザ定点対象疾患>

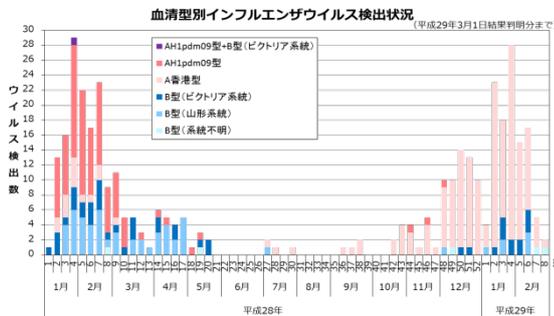
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり 30 人、注意報基準値:定点当たり 10 人)

### 【川崎市】

今期(平成 28 年 9 月～平成 29 年 2 月)は定点当たり 10.03 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.33 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。2016/2017 シーズンは、第 46 週に流行開始の目安である定点当たり 1.00 人を超え、例年に比べて 2 週間程度早く流行が始まり、第 51 週に流行発生注意報基準値(定点当たり 10.00 人)、第 3 週に流行警報基準値(定点当たり 30.00 人)を超え、第 4 週に流行のピークとなりました。



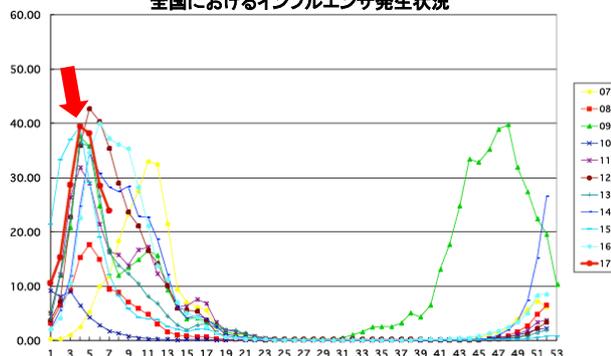
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。2016/2017 シーズンは、AH3 亜型が 164 件、B 型(ビクトリア系統)が 13 件、B 型(山形系統)が 7 件、AH1pdm09 型が 3 件、B 型(系統不明)が 3 件ありました。



### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。

全国におけるインフルエンザ発生状況

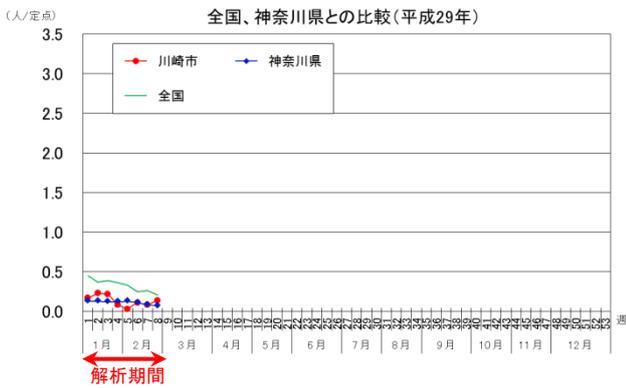
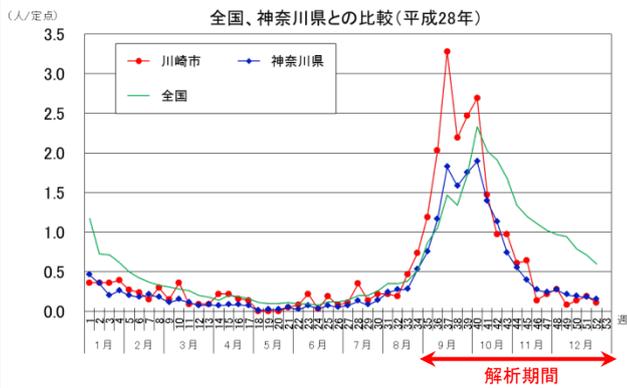
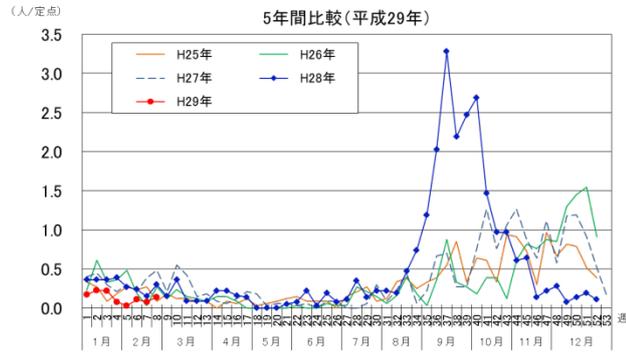
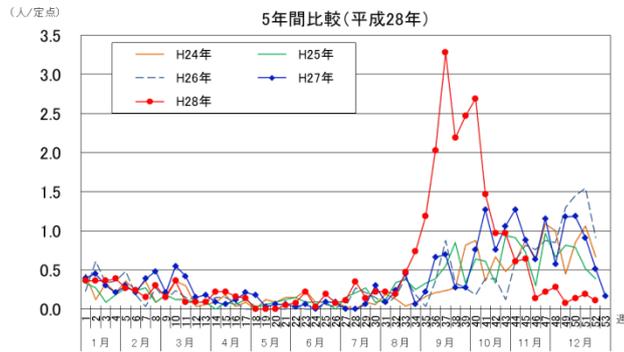


# <小児科定点対象疾患>

## RSウイルス感染症

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.80 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.61 倍で、例年より高いレベルで推移しました。8 月以降患者報告数が増加し、第 37 週には定点当たり報告数が 3.28 人となり、平成 15 年のデータ収集開始以降最大の報告数となりました。10 月以降患者報告数は減少し、冬期の流行はみられませんでした。

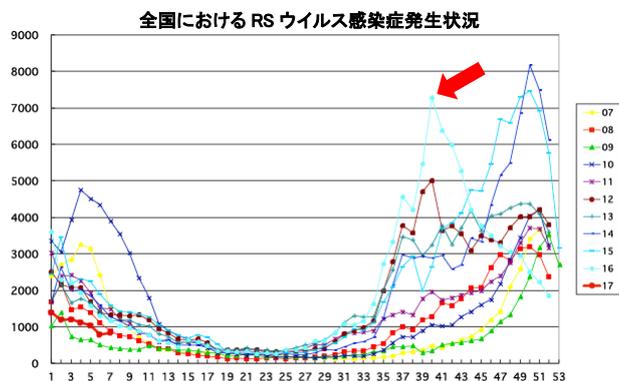


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.9.5	多摩区	男	1	RS ウイルス	B 型
H28.9.7	多摩区	男	9 か月	RS ウイルス	B 型
H28.9.13	多摩区	女	1	RS ウイルス	B 型
H28.9.13	麻生区	女	11 か月	RS ウイルス	B 型
H28.9.14	多摩区	男	3	RS ウイルス	B 型
H28.10.17	多摩区	女	10 か月	RS ウイルス	A 型
H28.10.19	多摩区	男	1	RS ウイルス	B 型
H28.11.17	多摩区	男	1	RS ウイルス	B 型

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

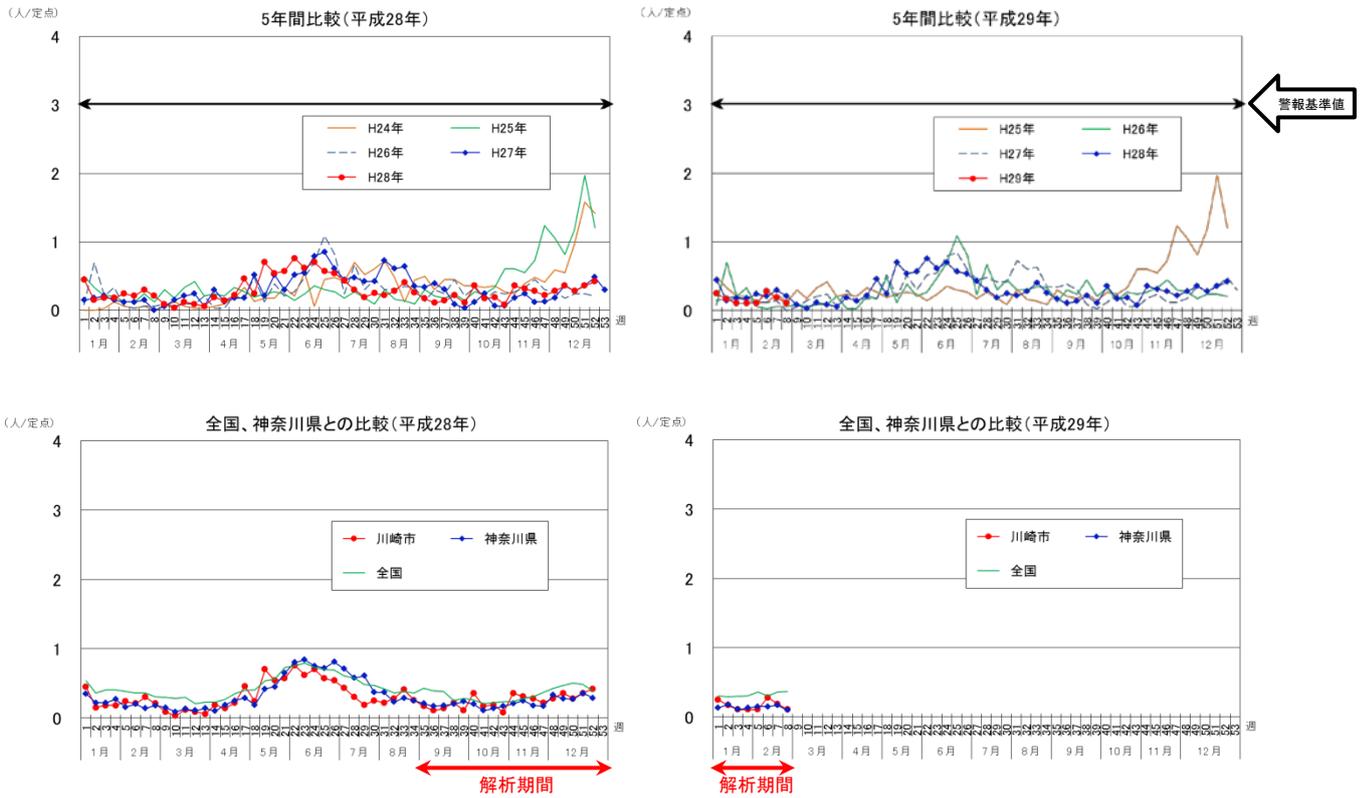


# 咽頭結膜熱(警報基準値: 定点当たり 3 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.22 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.70 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (3) を超えた週はありませんでした。

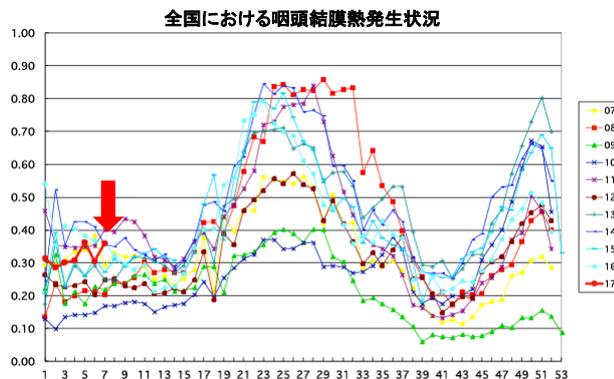


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果
H28.10.17	幸区	女	6	インフルエンザ AH1pdm09 型
H28.11.14	川崎区	男	1	アデノウイルス 3 型
H28.12.7	中原区	女	3	アデノウイルス 1 型
H28.12.20	中原区	女	4	アデノウイルス 2 型
H29.1.30	中原区	男	1	アデノウイルス 4 型

## 【全国及びその他】

全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。

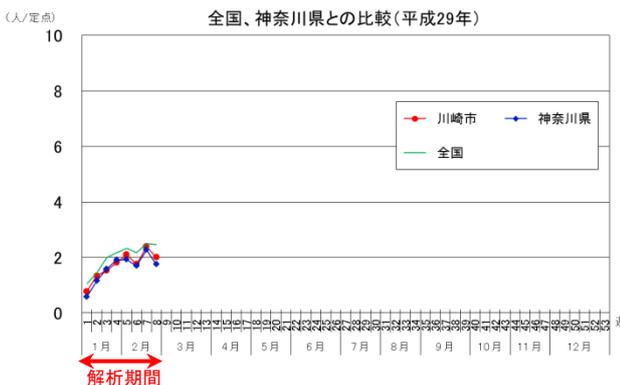
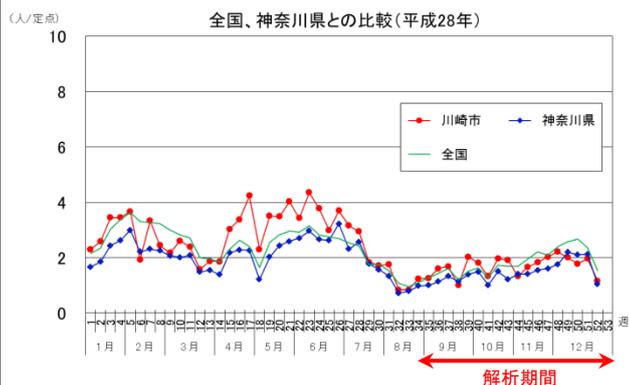
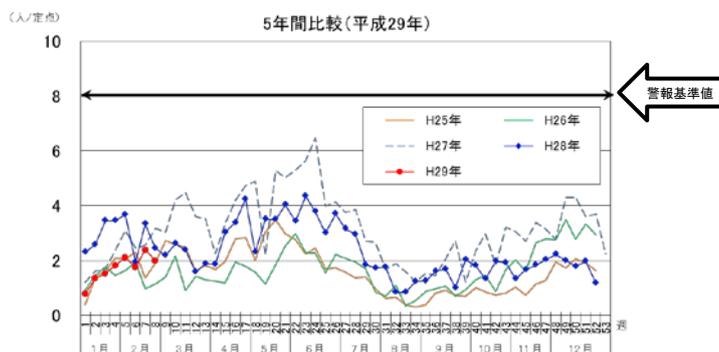
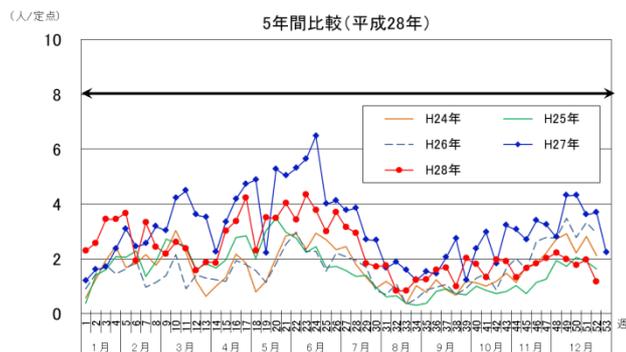


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.70 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.93 倍で、10 月下旬まで例年よりやや高いレベルで推移しましたが、それ以降は例年並みのレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) を超えた週はありませんでした。

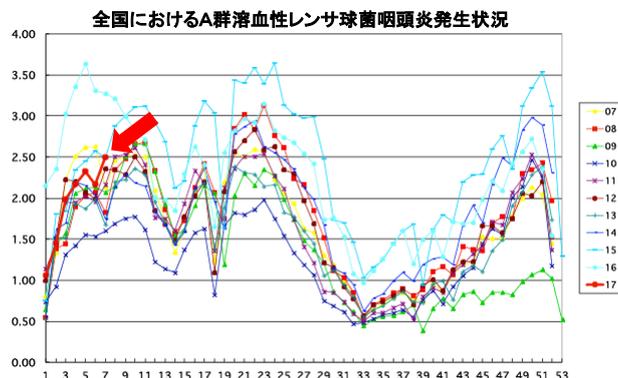


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	T 型別
H28.10.11	宮前区	女	5	A 群溶血性レンサ球菌	T1
H28.12.2	幸区	男	7	A 群溶血性レンサ球菌	T25
H28.12.14	中原区	男	2	A 群溶血性レンサ球菌	TB3264
H28.12.14	中原区	男	3	A 群溶血性レンサ球菌	T4
H29.1.13	中原区	女	6	A 群溶血性レンサ球菌	T4
H29.1.18	川崎区	女	6	A 群溶血性レンサ球菌	T25
H29.1.18	中原区	男	3	A 群溶血性レンサ球菌	型別不能
H29.1.23	中原区	女	3	A 群溶血性レンサ球菌	T4
H29.2.1	中原区	女	3	A 群溶血性レンサ球菌	TB3264
H29.2.14	高津区	男	5	A 群溶血性レンサ球菌	T25
H29.2.24	中原区	女	8	A 群溶血性レンサ球菌	T4

### 【全国及びその他】

全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。

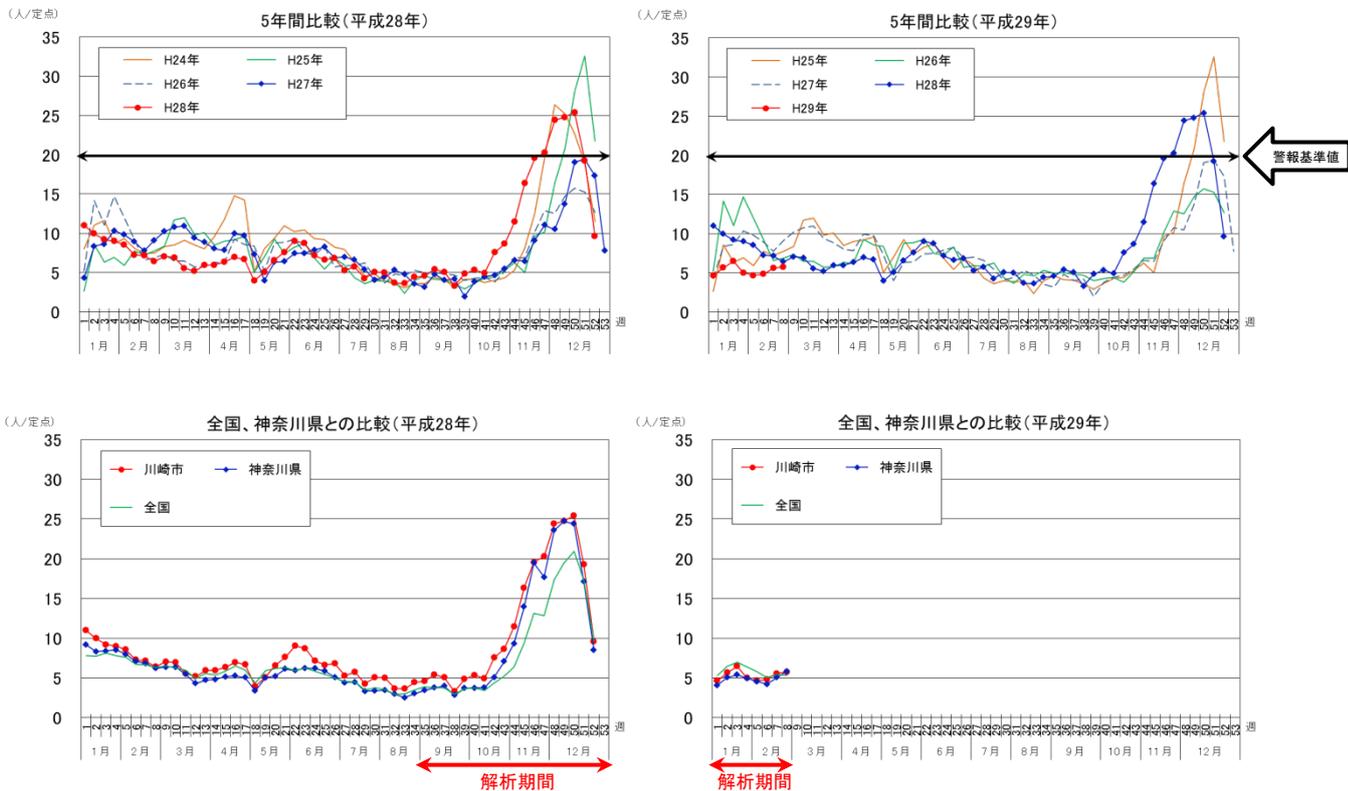


# 感染性胃腸炎(警報基準値: 定点当たり 20 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 10.14 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.14 倍で、例年並みのレベルで推移しました。第 41 週以降患者報告数が増加し、第 47 週には定点当たり患者報告数が 20.31 人となり平成 25 年以来 3 年ぶりに流行発生警報基準値を超えました。流行のピークは第 50 週の定点当たり 25.42 人で、第 52 週以降は例年より低いレベルで推移しました。

また、年齢階級別では 5 歳以下が 58.5% を占めました。



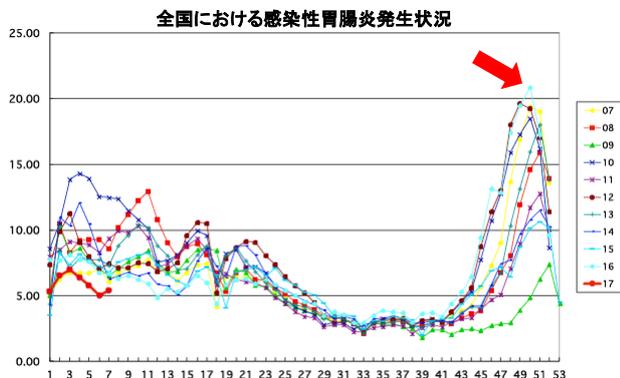
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果(ウイルス)	血清型	検査結果(細菌)
H28.10.31	幸区	女	3	ノロウイルス	GI.3	陰性
H28.11.18	幸区	男	6	陰性	-	陰性
H29.1.10	宮前区	男	24	ノロウイルス	GI.2	陰性
H29.2.20	幸区	女	1	-*	-	陰性

\* 細菌検査のみ依頼

## 【全国及びその他】

全国的にも 12 月まで例年より高いレベルで推移しましたが、それ以降は例年より低いレベルで推移しました。

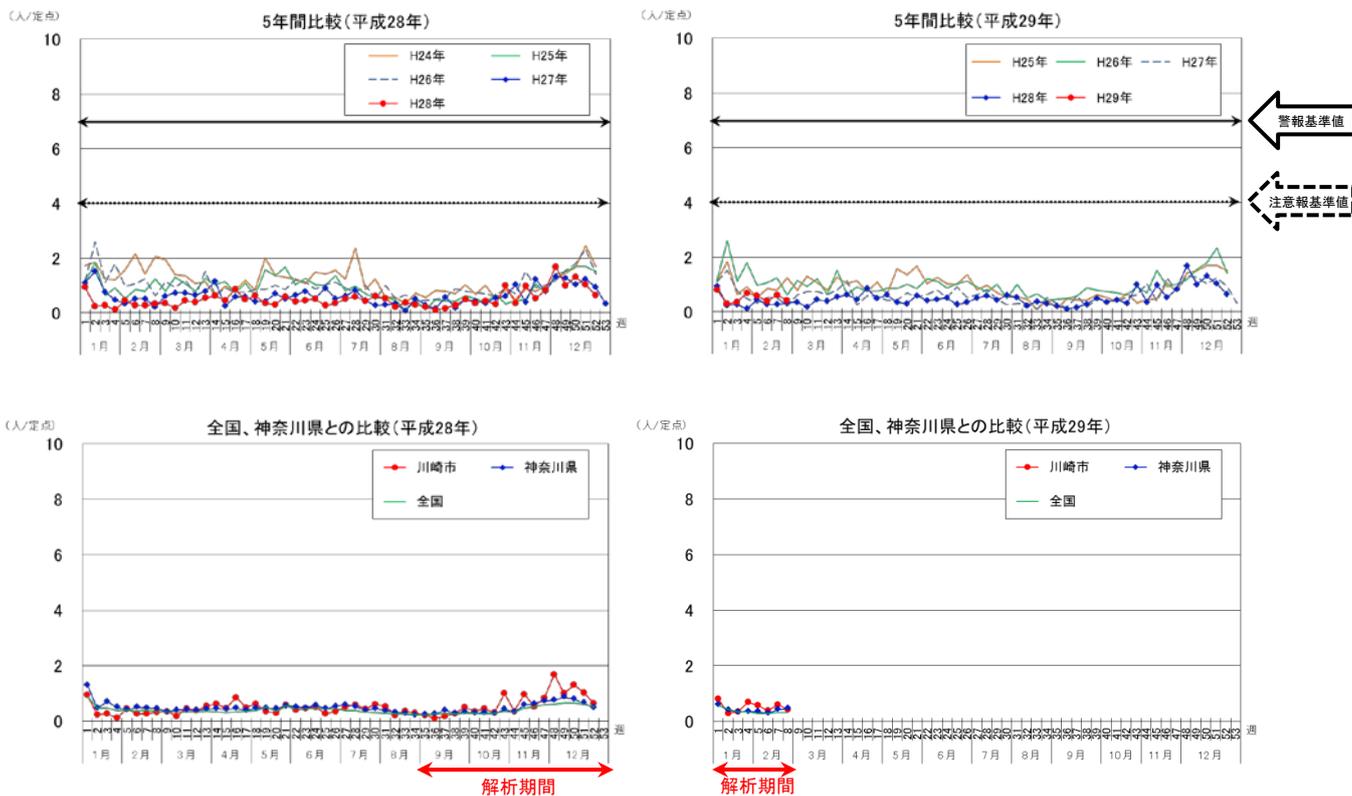


# 水痘(警報基準値:定点当たり7人、注意報基準値:定点当たり4人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.61 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.62 倍で、例年より低いレベルで推移しましたが、第 43 週以降患者報告数がやや増加しました。

今期、流行発生注意報基準値 (4) を超えた週はありませんでした。

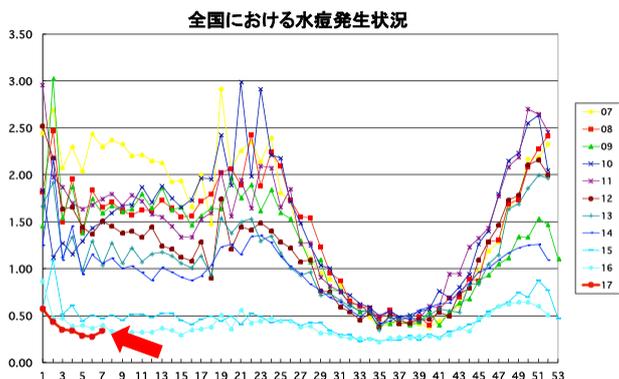


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.11.29	宮前区	男	9	陽性	水痘・带状疱疹ウイルス
H28.12.1	宮前区	男	9	陽性	水痘・带状疱疹ウイルス
H29.2.8	中原区	女	2	陽性	水痘・带状疱疹ウイルス

## 【全国及びその他】

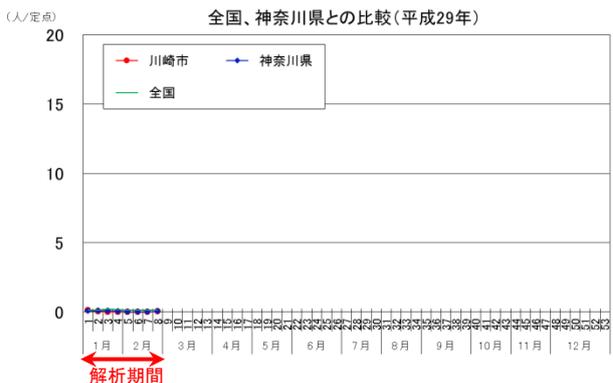
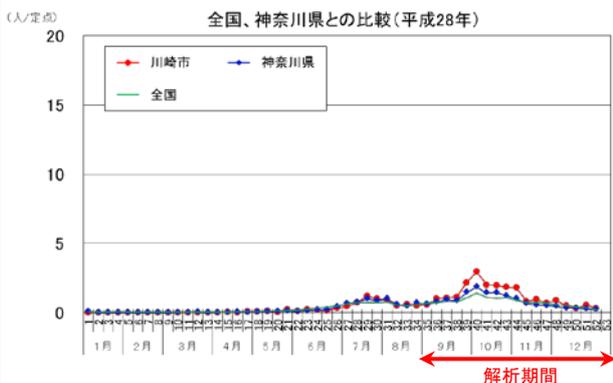
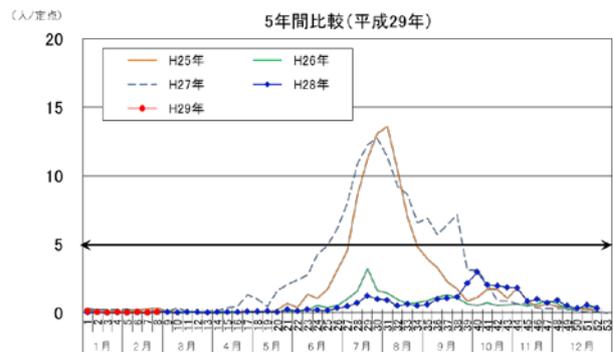
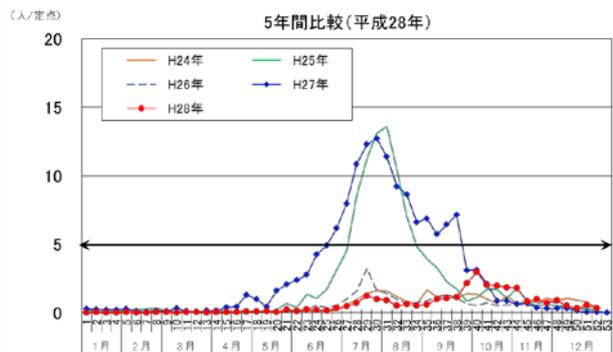
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



# 手足口病(警報基準値: 定点当たり 5 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.85 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.87 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しましたが、第 39 週～第 44 週に報告数がやや増加し、小規模な流行がみられました。今期、流行発生警報基準値 (5) を超えた週はありませんでした。

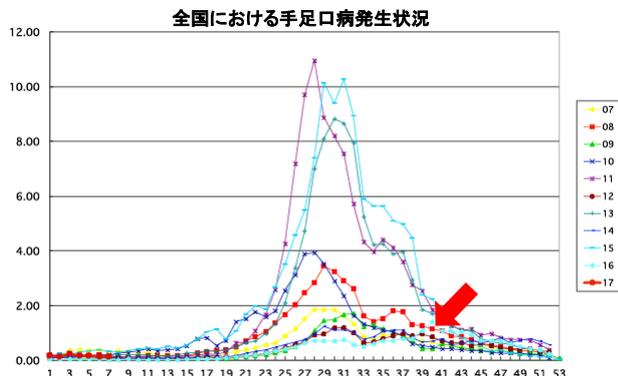


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.9.29	多摩区	男	1	コクサッキーウイルス	A6
H28.10.4	中原区	女	1	コクサッキーウイルス	A6
H28.10.4	中原区	男	1	コクサッキーウイルス	A6
H28.10.4	多摩区	男	2	コクサッキーウイルス	A6
H28.10.7	中原区	男	1	コクサッキーウイルス	A6
				ライノウイルス	A
H28.10.7	中原区	女	3	コクサッキーウイルス	A6
H28.10.14	中原区	女	1	コクサッキーウイルス	A6
H28.10.26	中原区	女	1	コクサッキーウイルス	A6
H28.10.26	中原区	女	7 か月	コクサッキーウイルス	A6
H28.10.31	川崎区	女	2	コクサッキーウイルス	A6
H28.11.7	中原区	男	1	コクサッキーウイルス	A6
				コクサッキーウイルス	A6
H28.11.22	多摩区	男	3	ライノウイルス	C
				コクサッキーウイルス	A6
H28.11.28	多摩区	女	1	コクサッキーウイルス	A6
H29.1.10	中原区	男	1	コクサッキーウイルス	A6
H29.1.11	川崎区	女	4	パルボウイルス	B19

## 【全国及びその他】

全国的には 10 月以降やや高いレベルで推移しました。

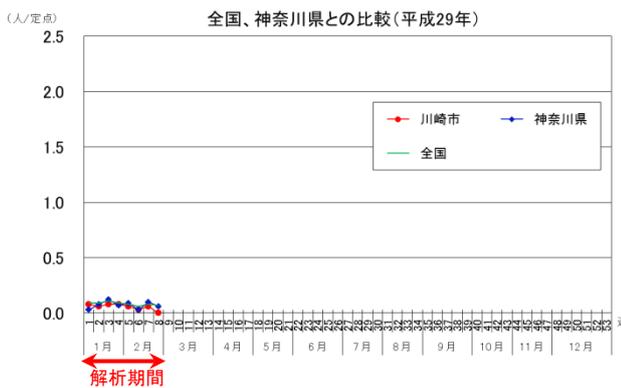
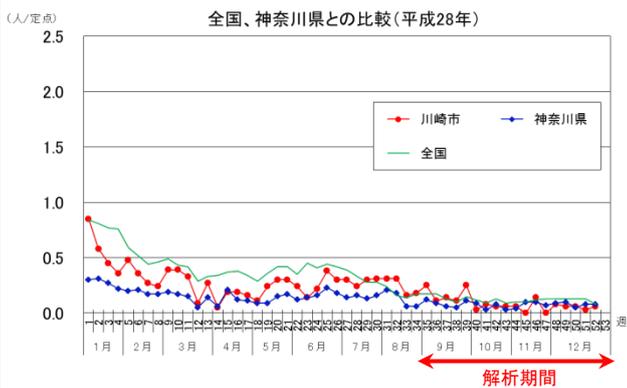
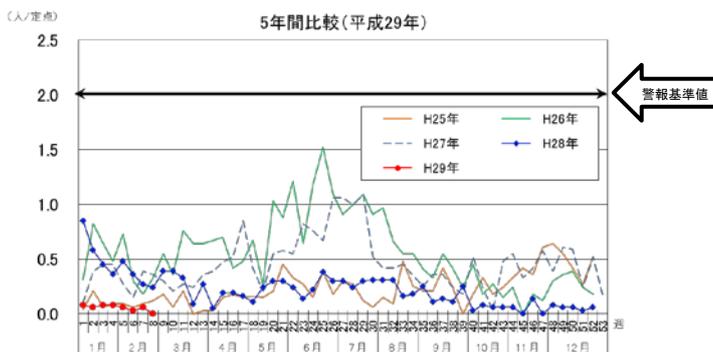
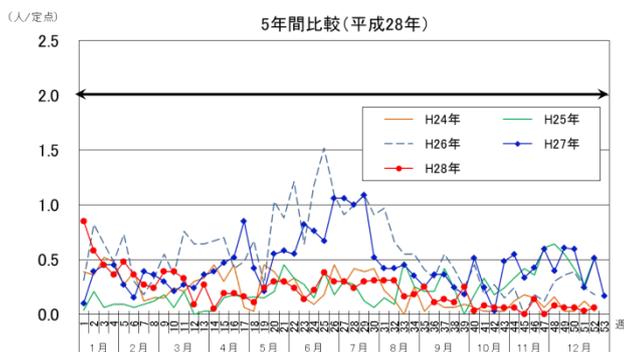


## 伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.25 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (2) を超えた週はありませんでした。

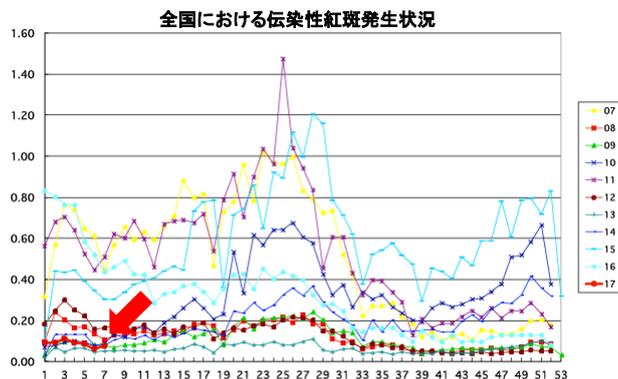


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.10.4	中原区	女	8	陰性	-
H28.10.26	中原区	男	11 か月	陰性	-
H28.11.1	多摩区	女	5	陰性	-
H28.11.30	中原区	男	7	パルボウイルス	B19

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

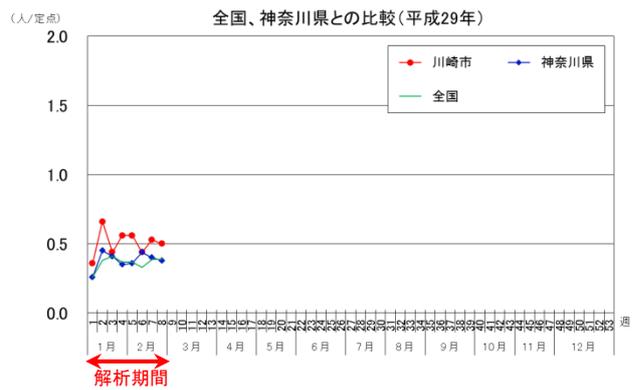
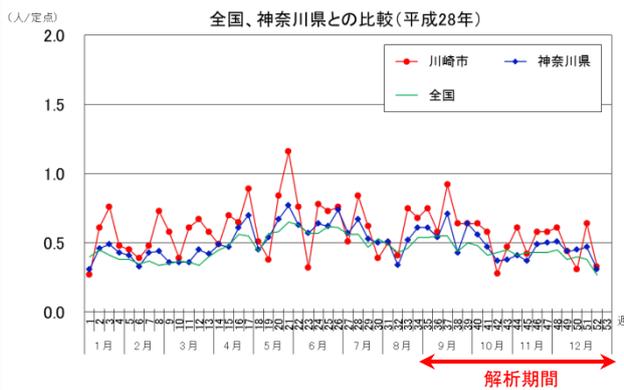
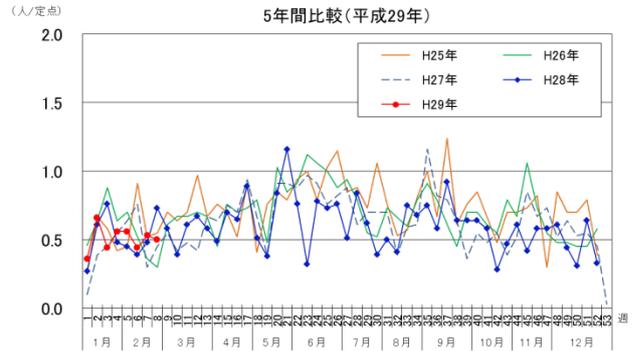
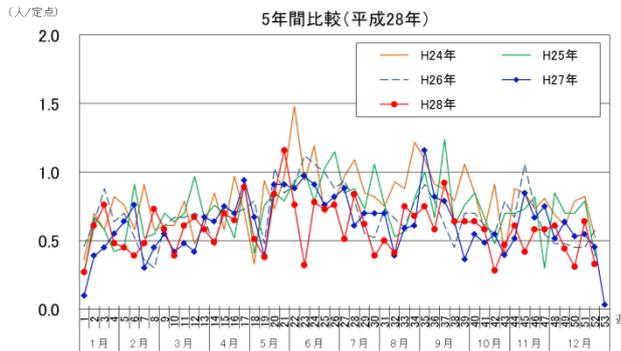


# 突発性発しん

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.54 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.82 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

また、年齢階級別では 1 歳以下が 84.8% を占めました。

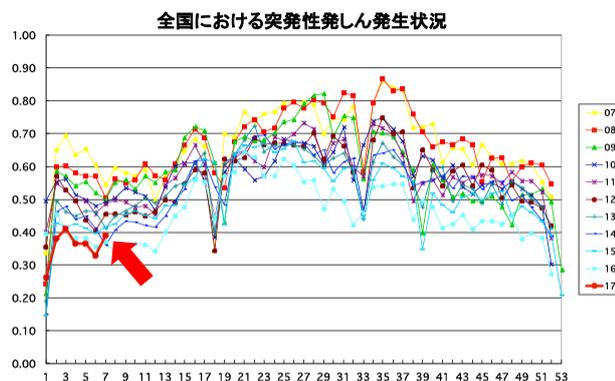


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.9.1	多摩区	女	1	ヒトヘルペスウイルス	6
H28.9.8	多摩区	男	9 か月	ヒトヘルペスウイルス	6
				サイトメガロウイルス	-
H28.10.28	多摩区	男	3	ヒトヘルペスウイルス	6

## 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

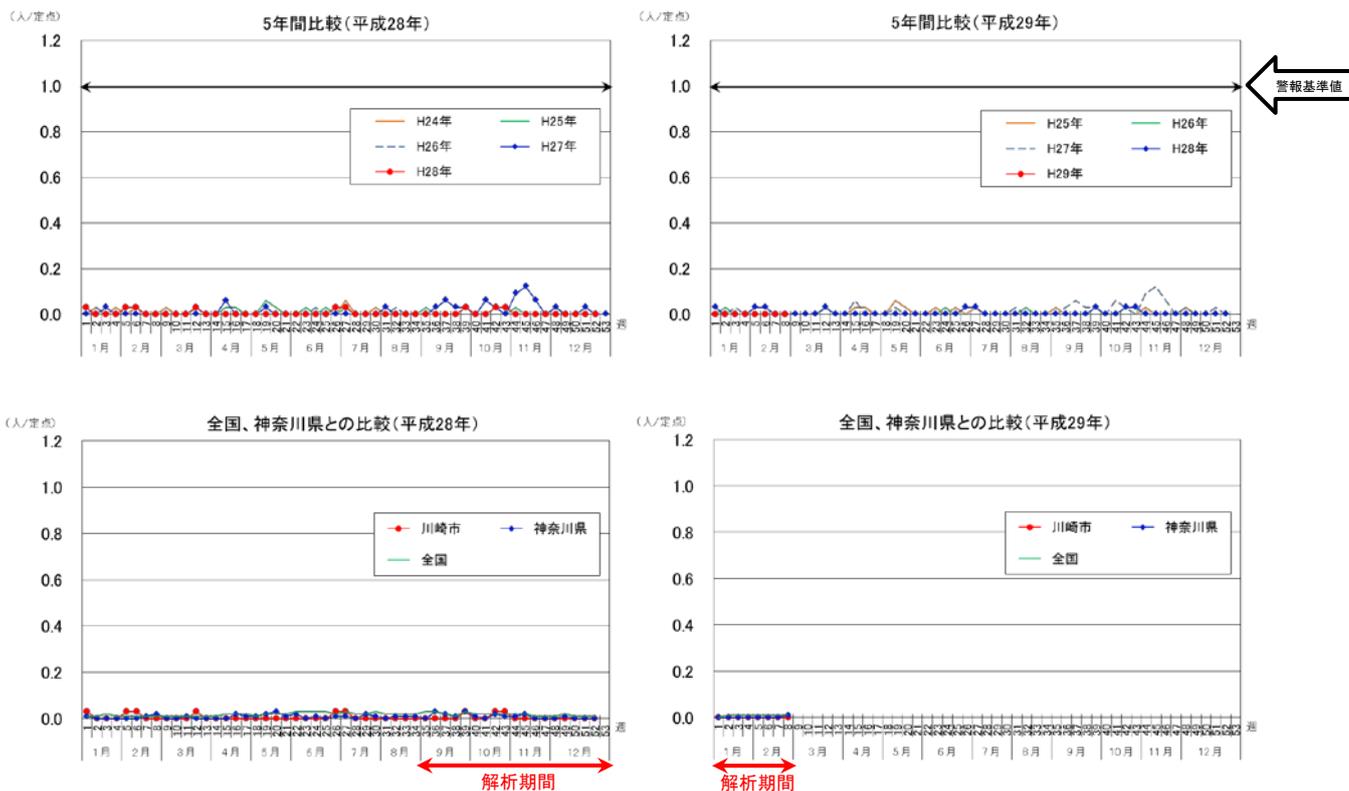


## 百日咳(警報基準値:定点当たり1人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.003 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.39 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

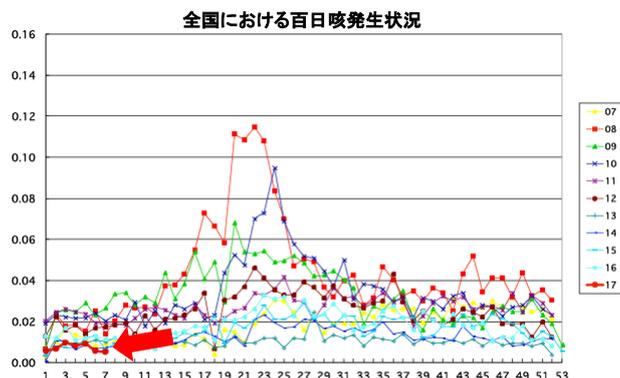
また、年齢階級別では 6～11 か月、10～14 歳、20 歳以上がそれぞれ 1 件でした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

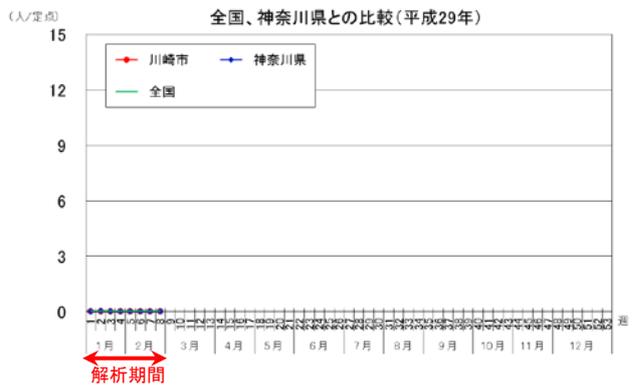
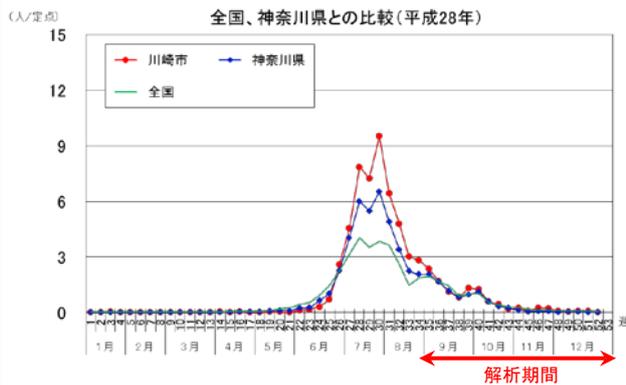
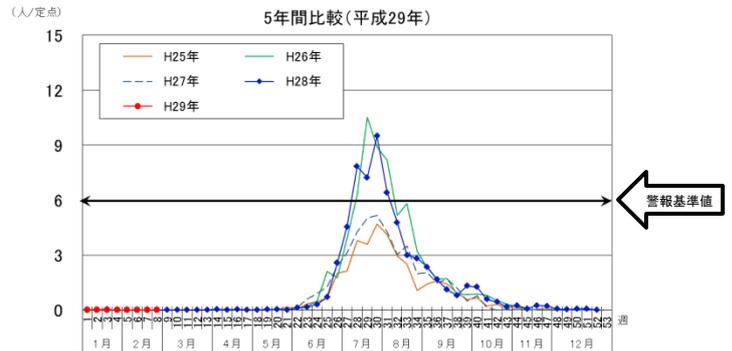
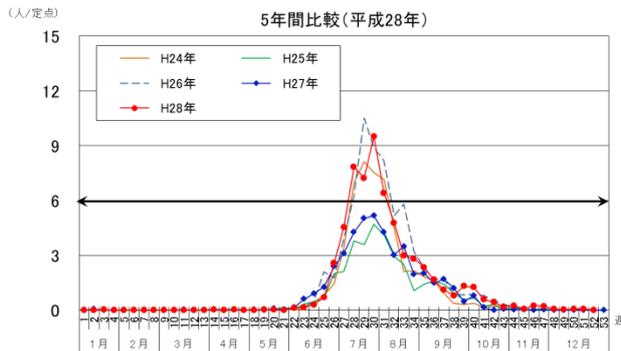


## ヘルパンギーナ(警報基準値:定点当たり6人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり0.41人の報告があり、過去5年平均の報告数と比較すると1.23倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。

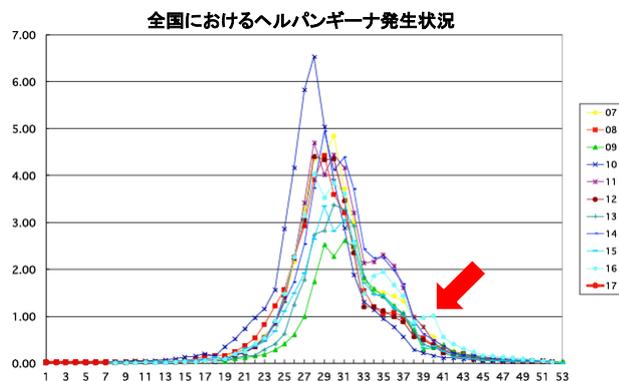
今期、流行発生警報基準値(6)を超えた週は、多摩区で第35週(7.2人)でした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

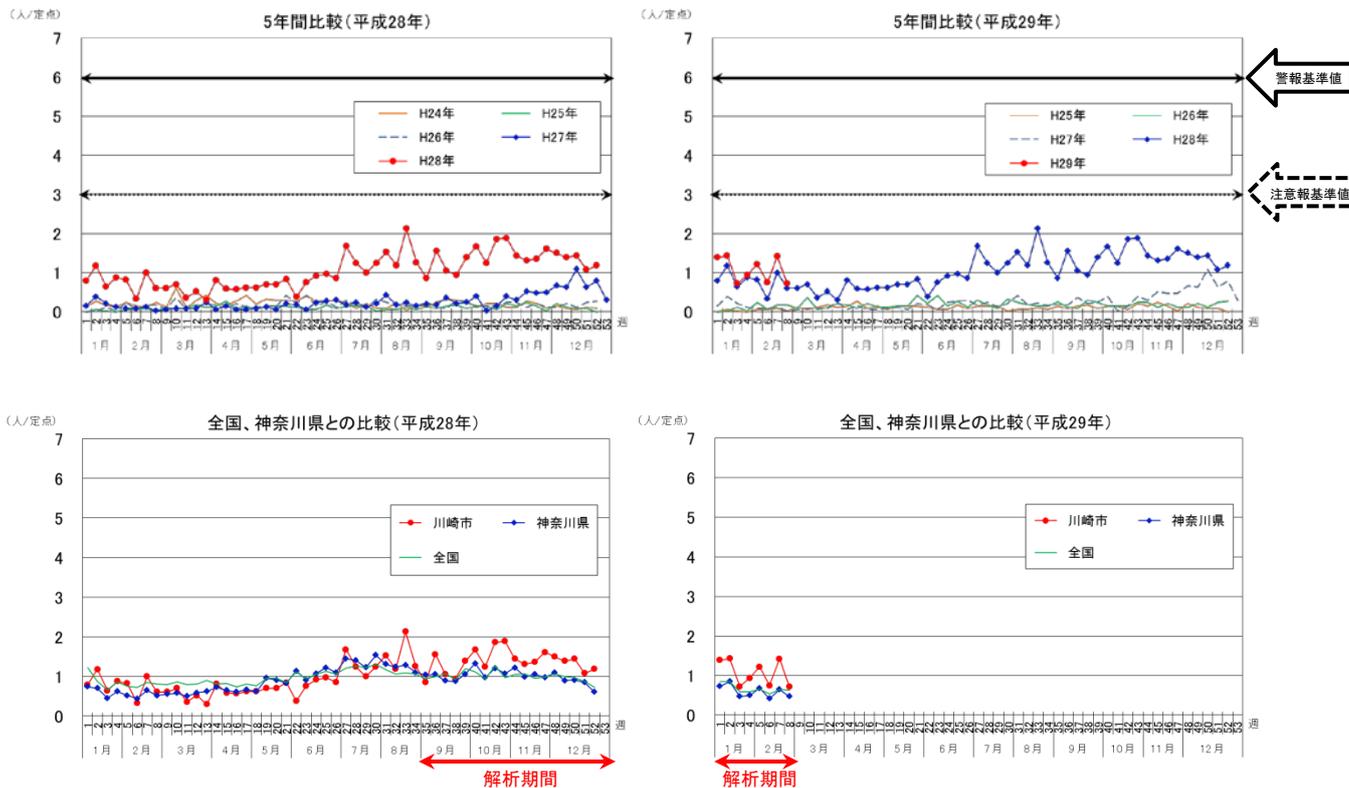


# 流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.28 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 5.04 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。

今期、全市で流行発生注意報基準値 (3) を超えた週はありませんでした。

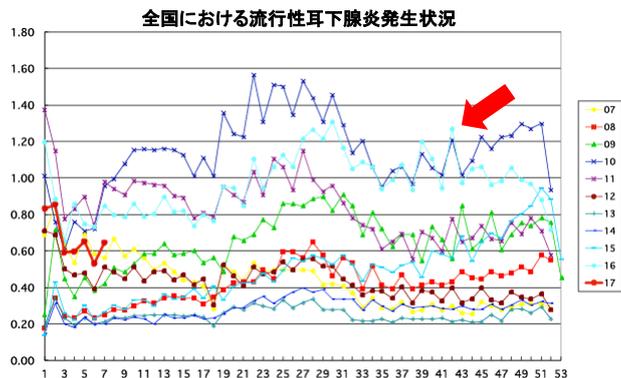


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.9.7	川崎区	男	3	ムンプスウイルス	Gw 型
H28.9.20	中原区	男	12	ムンプスウイルス	Gw 型
H28.12.12	宮前区	男	6	陰性	-

## 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



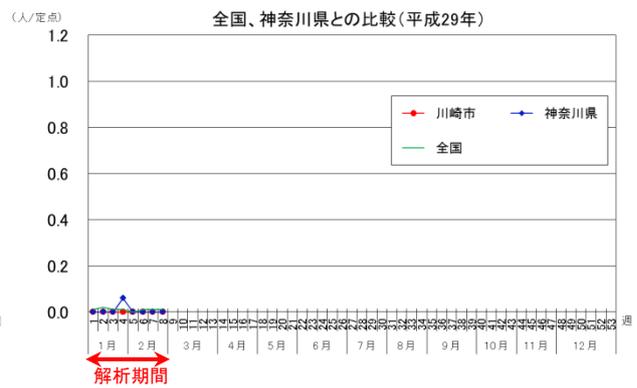
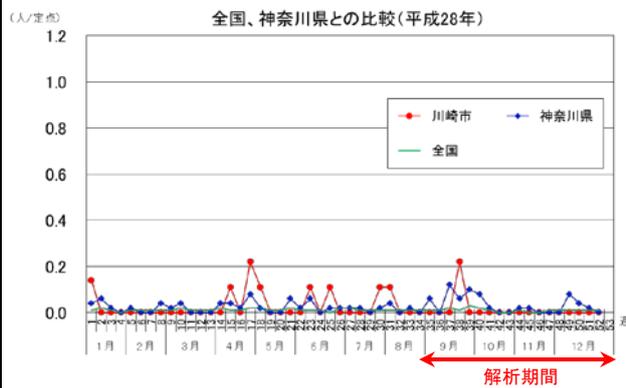
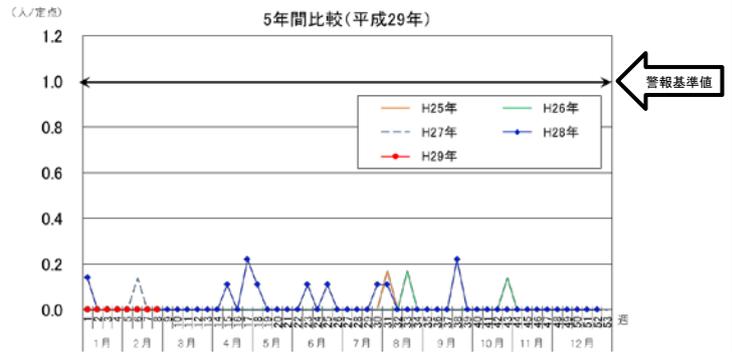
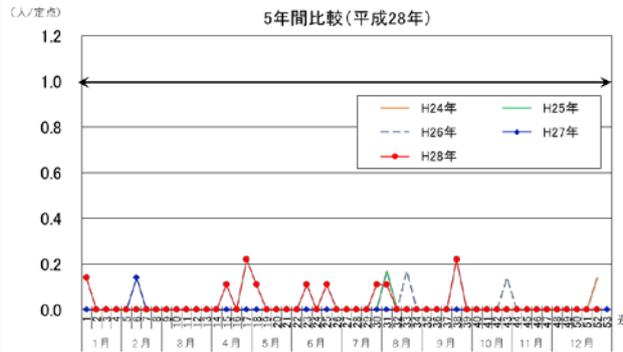
## <眼科定点対象疾患>

### 急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

#### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.01 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.25 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。

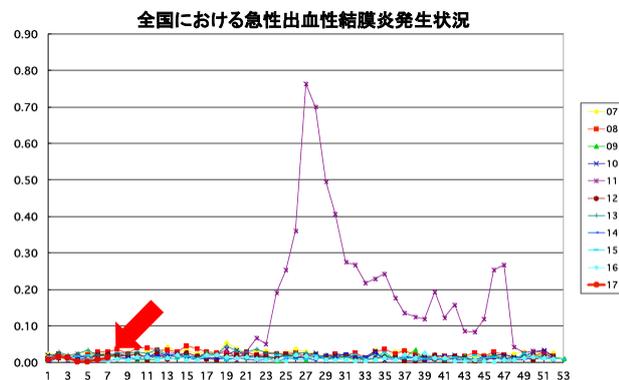
今期、流行発生警報基準値 (1) を超えた週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

#### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

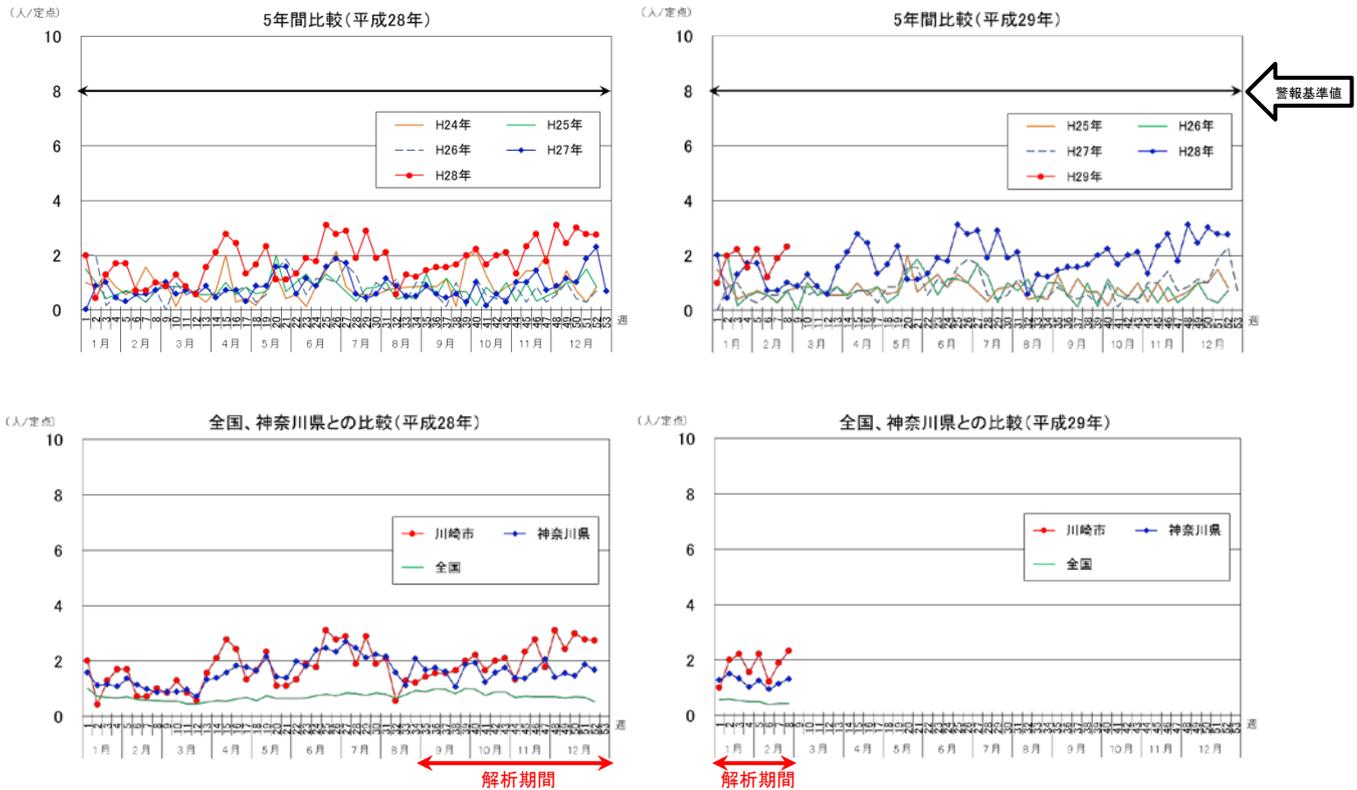


## 流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.03 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 2.46 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。第 48 週は定点当たり 3.11 人となり過去 5 年間で比較して最大の報告数となりました。

今期、流行発生警報基準値 (8) を超えた週は、高津区で第 45 週 (8.0 人)、第 48 週 (11.0 人)、第 49 週 (10.0 人)、第 50 週 (12.0 人)、第 51 週 (13.0 人) でした。

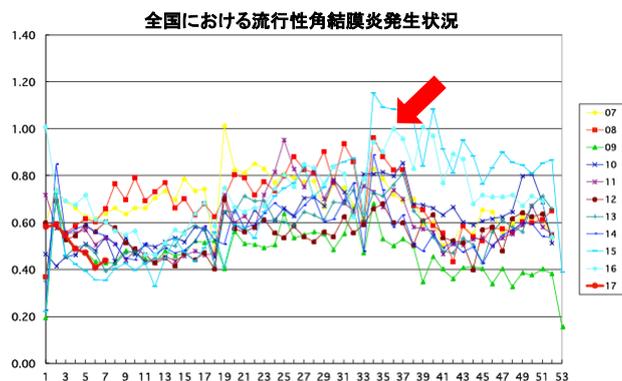


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.10.17	川崎区	男	28	アデノウイルス	3

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

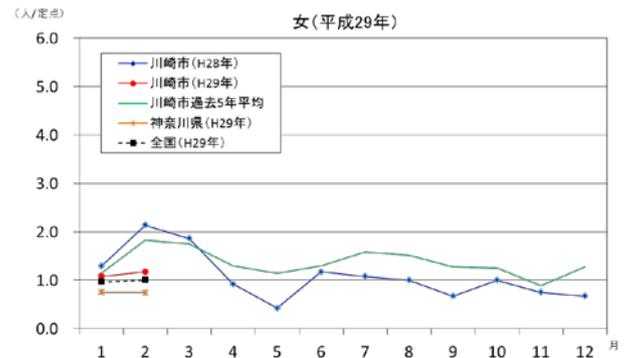
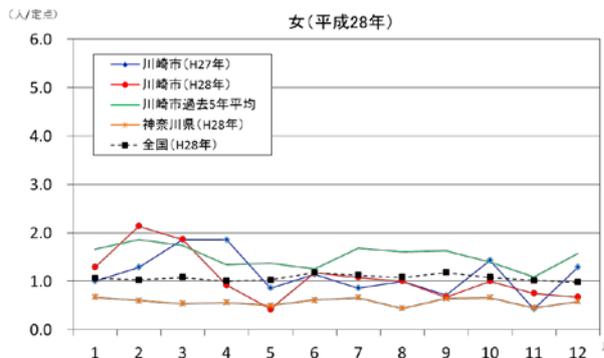
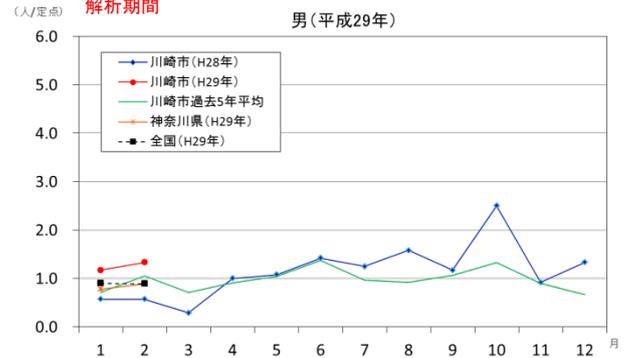
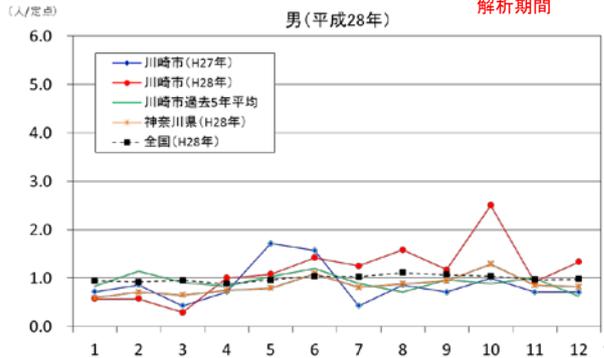
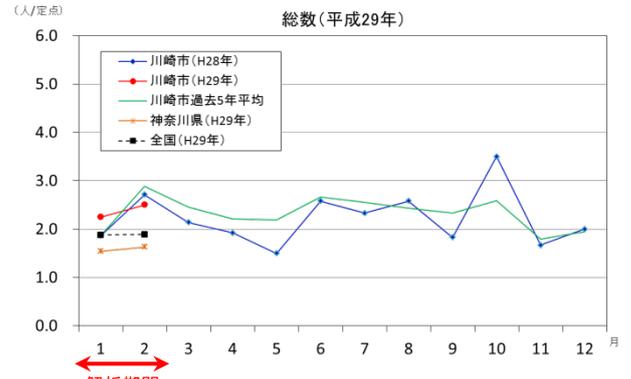
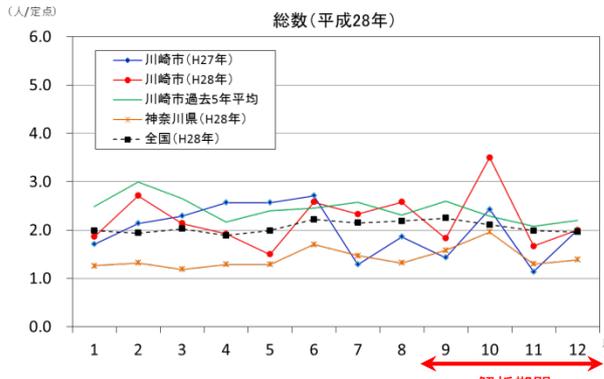


# <性感染症定点対象疾患>

## 性器クラミジア感染症

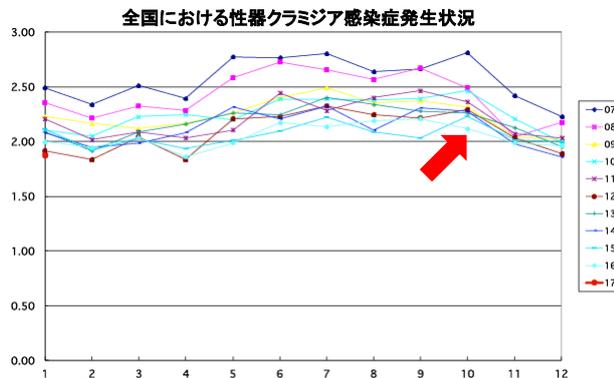
### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.29 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.99 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



### 【全国及びその他】

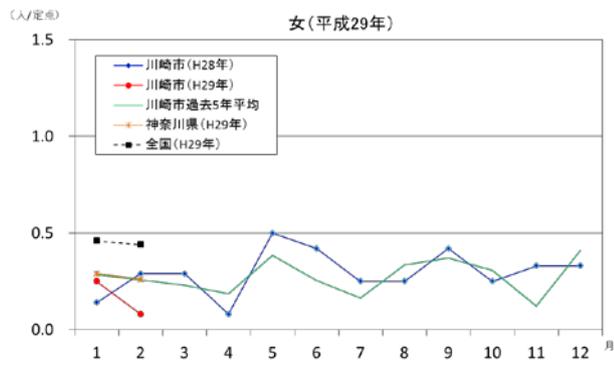
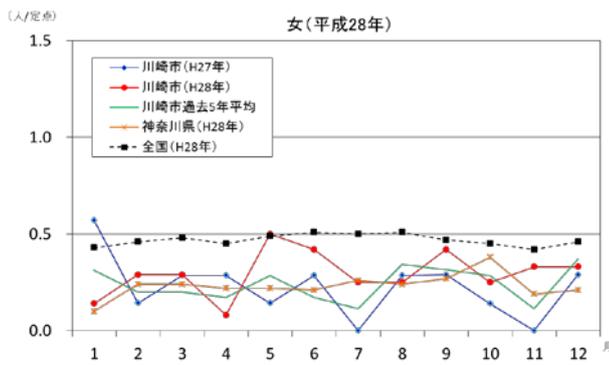
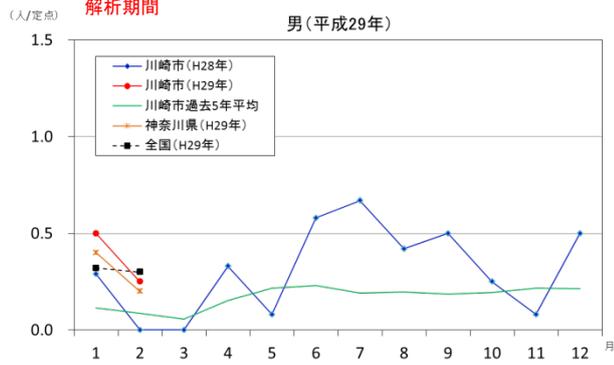
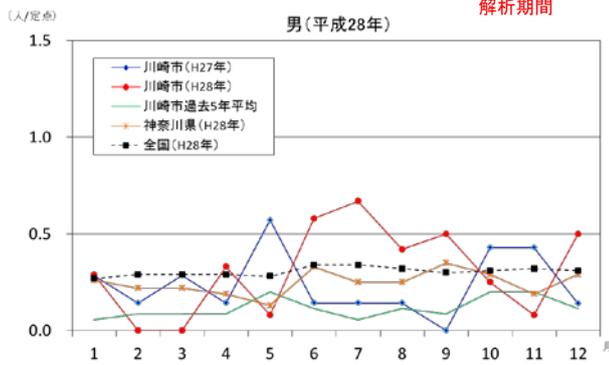
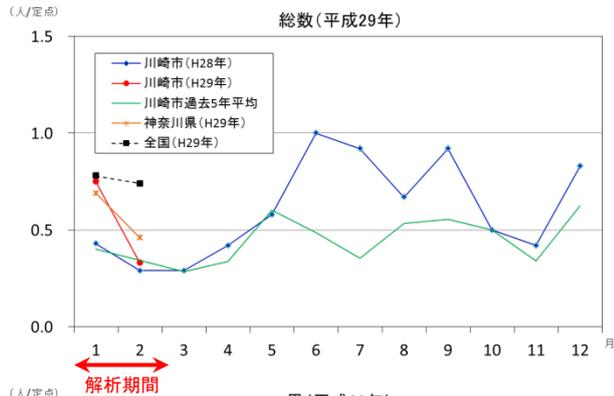
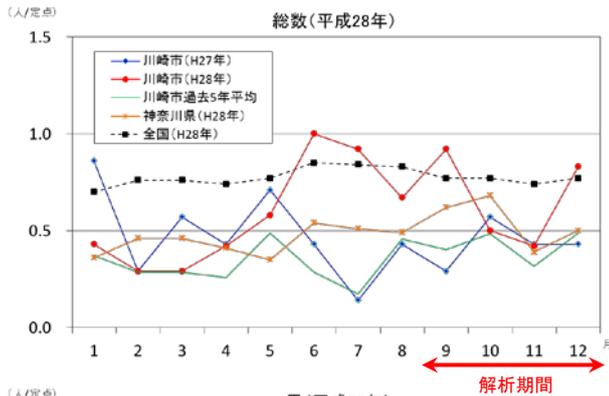
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# 性器ヘルペスウイルス感染症

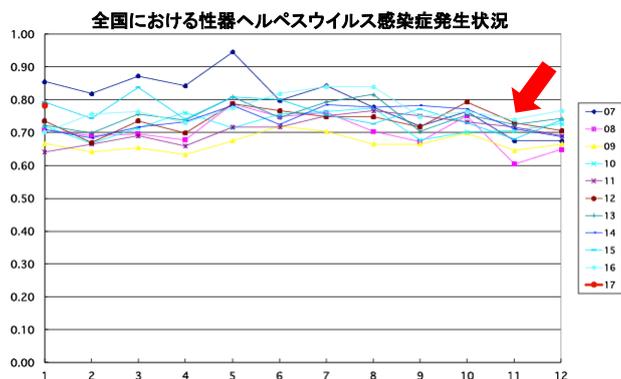
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.63 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.56 倍で、例年より高いレベルで推移しました。特に男性は 9 月、12 月、1 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

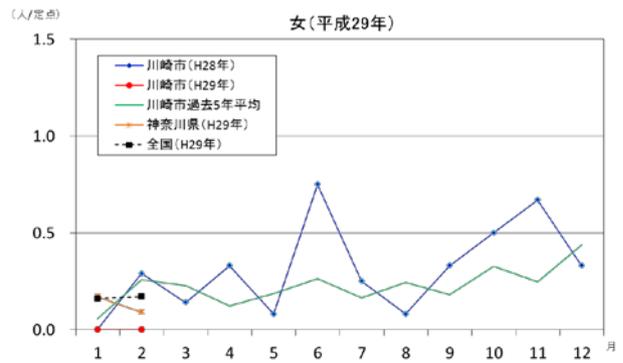
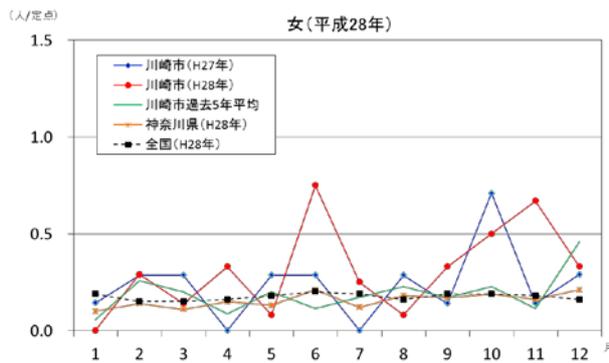
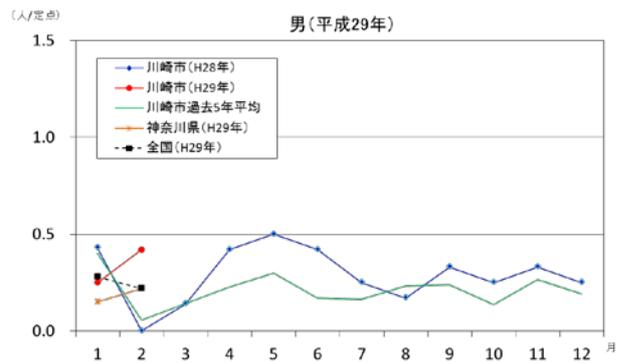
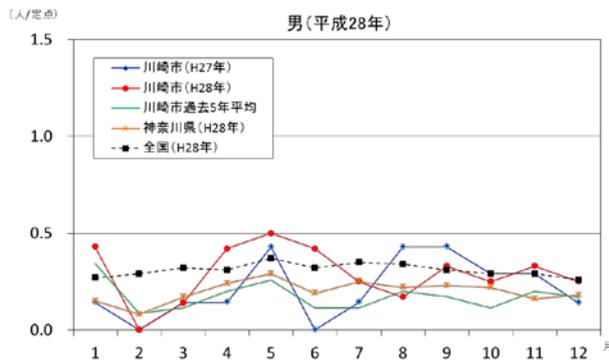
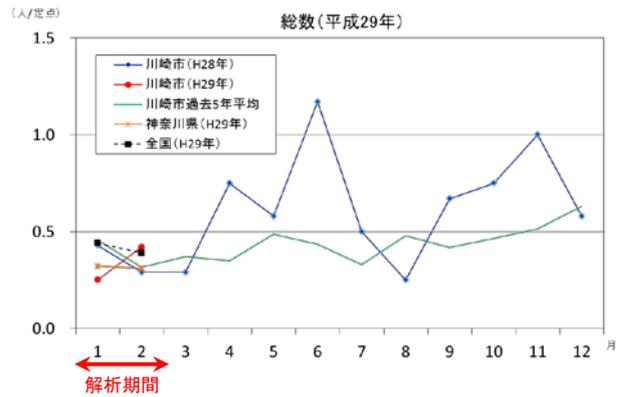
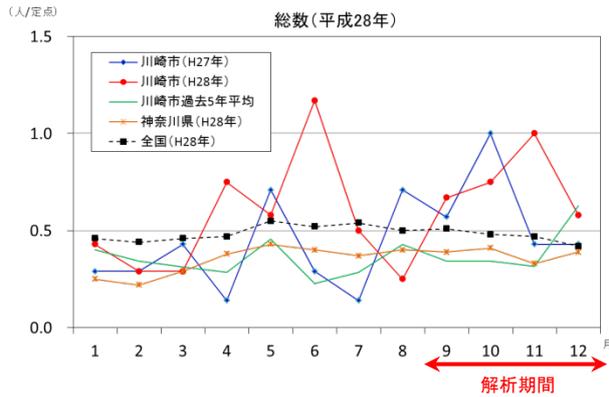
全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



# 尖圭コンジローマ

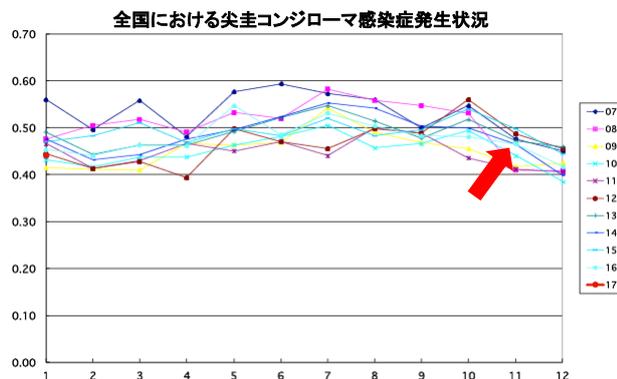
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.61 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.53 倍で、例年より高いレベルで推移しました。特に女性は 9 月～11 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

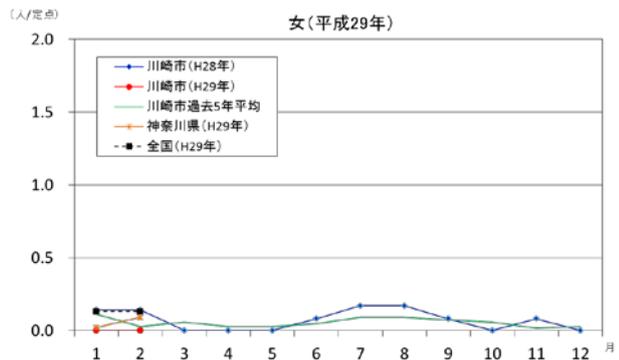
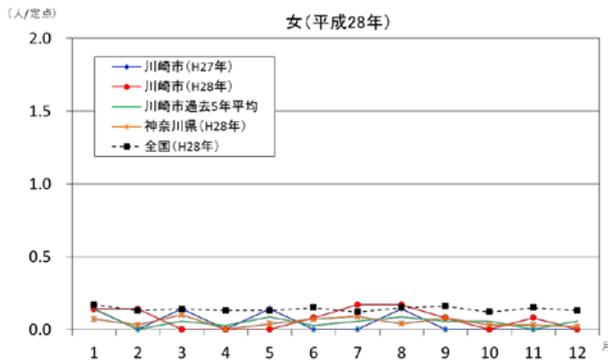
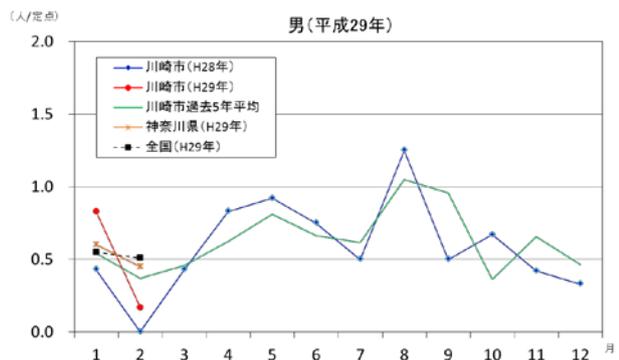
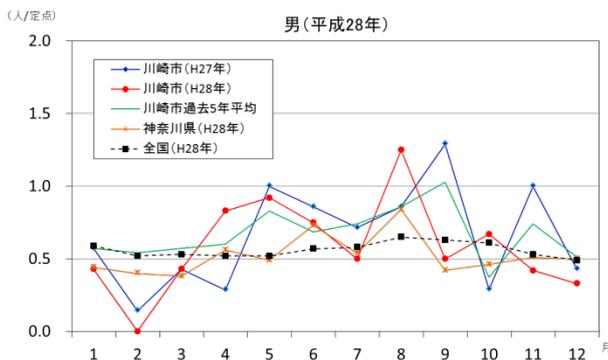
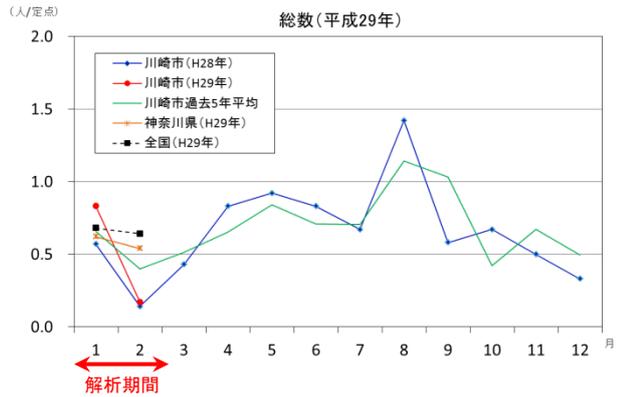
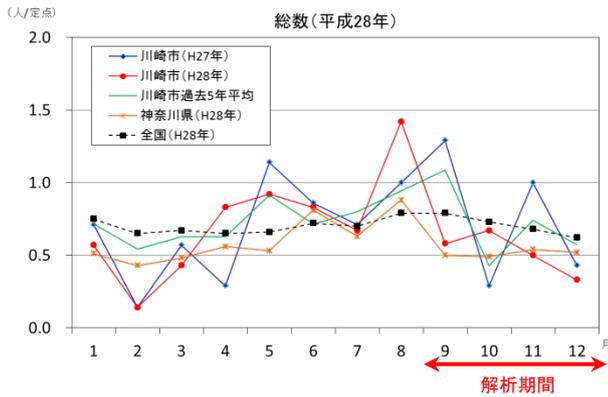
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



# 淋菌感染症

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.51 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.78 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。特に男性の報告数が多く、全体の 94.3%を占めました。



## 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

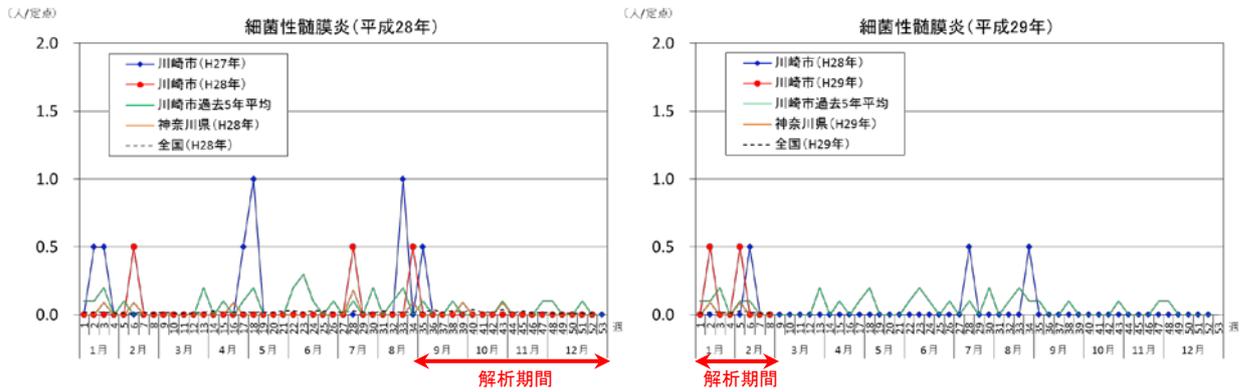


# <基幹定点対象疾患（週報）>

## 細菌性髄膜炎

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.83 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

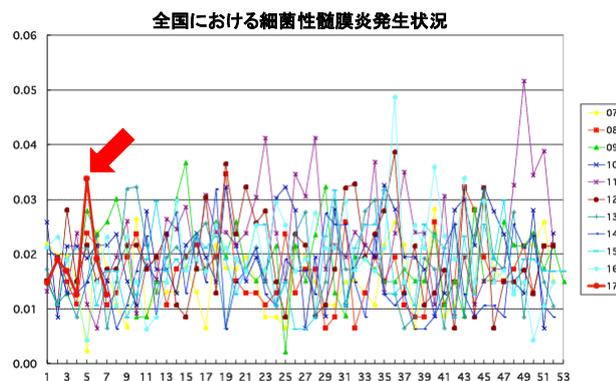


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

届出週	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査部位
第 2 週	川崎区	男	71	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	髄液
第 5 週	宮前区	男	69	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	髄液

### 【全国及びその他】

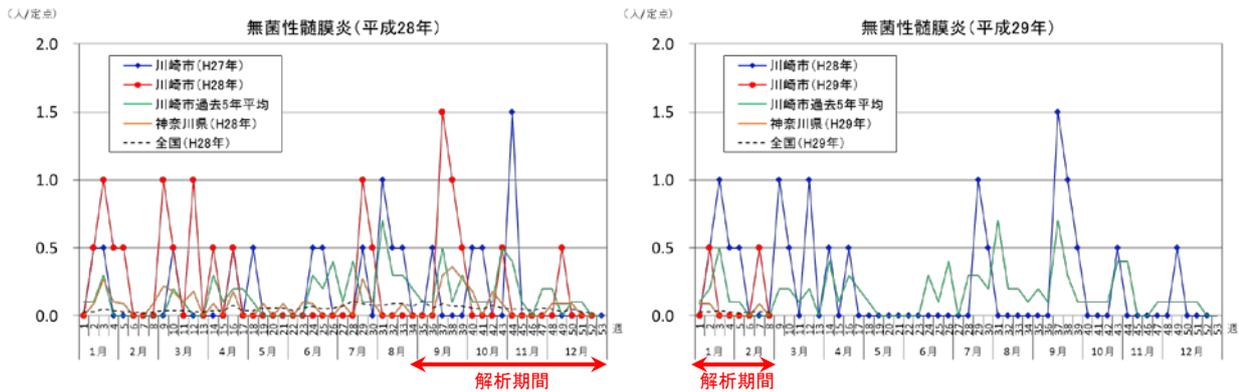
全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。



# 無菌性髄膜炎

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.21 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.35 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。

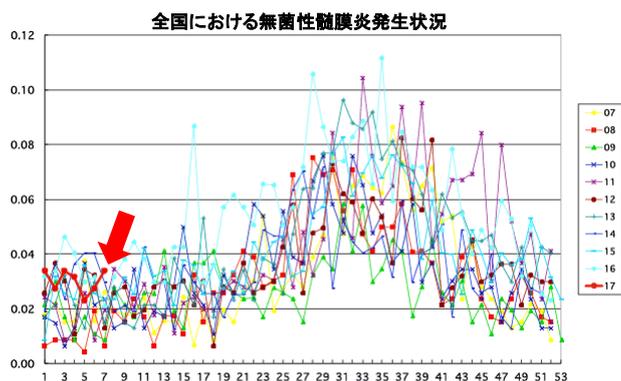


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)	検査部位
H28.9.13	川崎区	女	11 か月	エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B5	髄液
H28.9.13	宮前区	女	1 か月	エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B3	髄液
				エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B3	咽頭ぬぐい液
				エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B3	直腸ぬぐい液
H28.9.15	川崎区	女	45	水痘・帯状疱疹ウイルス	—	髄液
H28.9.21	川崎区	女	0 か月	エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B5	髄液
				ライノウイルス	C	咽頭ぬぐい液
				陰性	—	血清
				エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B5	ふん便
H28.10.12	宮前区	男	0 か月	エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B4	髄液
				エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B4	咽頭ぬぐい液
				エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B4	直腸ぬぐい液
H28.10.12	宮前区	女	9	エコーウイルス	6	髄液
H28.10.28	川崎区	男	1 か月	エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B5	髄液
				エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B5	咽頭ぬぐい液
				エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B5	ふん便
H28.12.12	川崎区	男	24	水痘・帯状疱疹ウイルス	—	髄液
H29.1.11	川崎区	男	28	陰性	—	髄液

## 【全国及びその他】

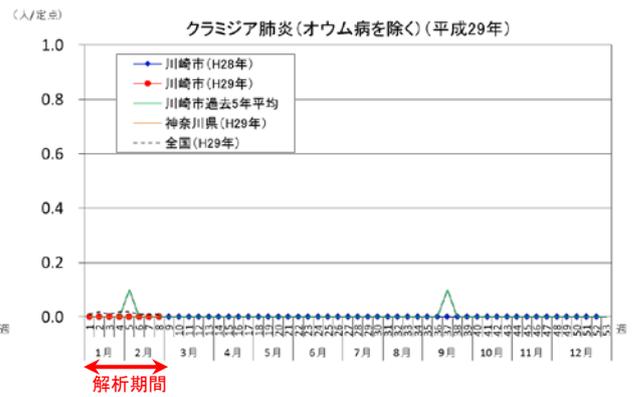
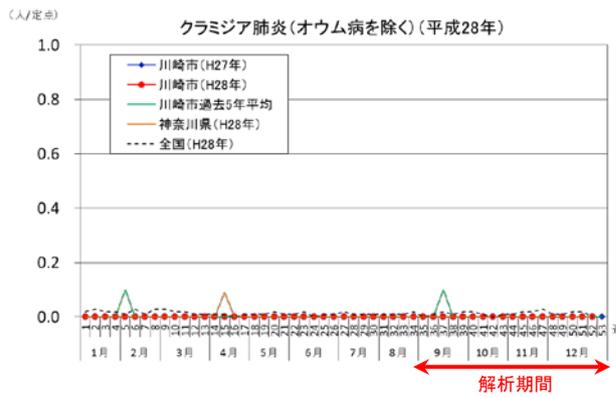
全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



# クラミジア肺炎(オウム病を除く)

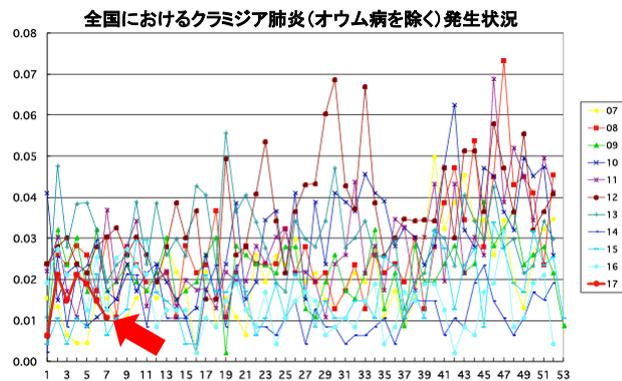
## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

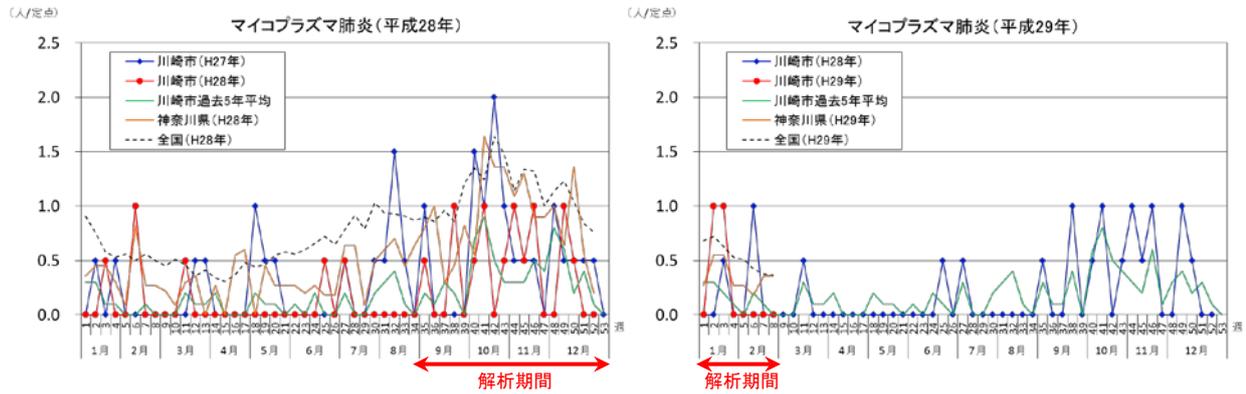
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



# マイコプラズマ肺炎

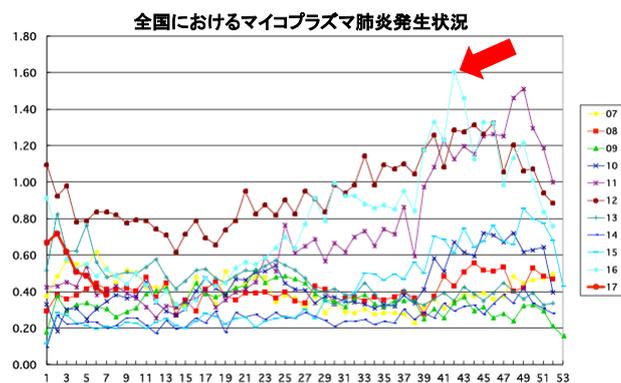
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.37 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.22 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。



## 【全国及びその他】

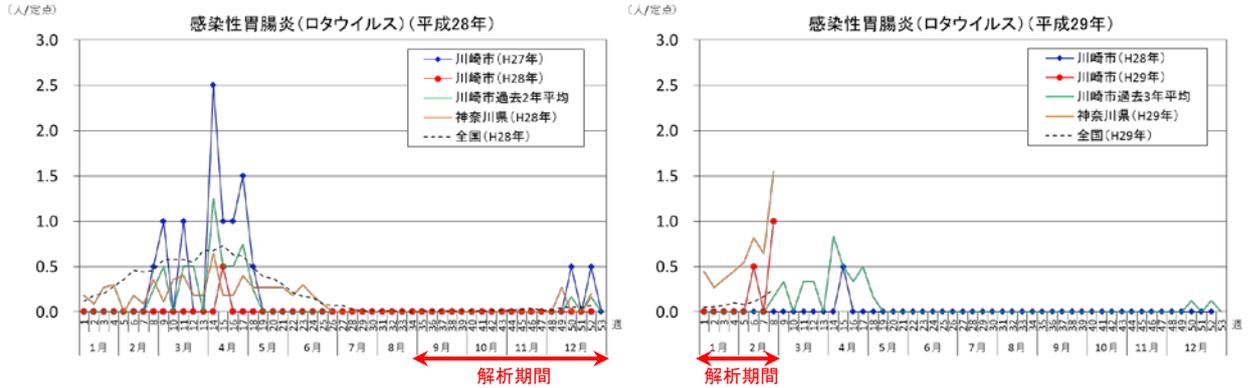
全国的にも 1 月上旬まで例年よりかなり高いレベルで推移しました。



# 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、過去 3 年平均の報告数と比較すると 5.00 倍で、2 月以降患者報告数が増加しました。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果(ウイルス)	血清型
H29.2.7	宮前区	女	1	ロタウイルス	G2P[4]

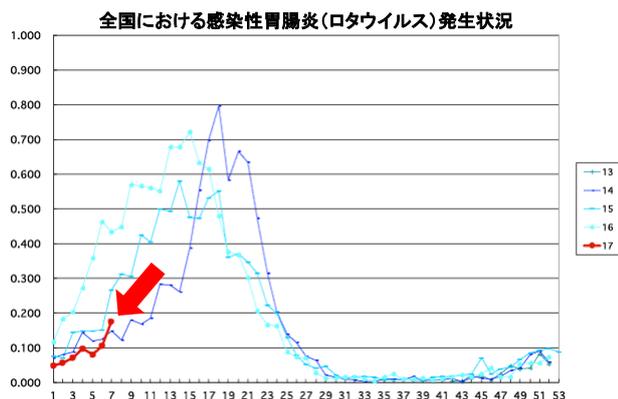
※1 価ワクチン：G1P[8]を成分とした弱毒生ワクチン

※5 価ワクチン：G1、G2、G3、G4、P1A[8] を成分とした弱毒生ワクチン

1 価ワクチン及び5 価ワクチンについては、いずれも G1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に効果があると添付文書に記載されている。

## 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

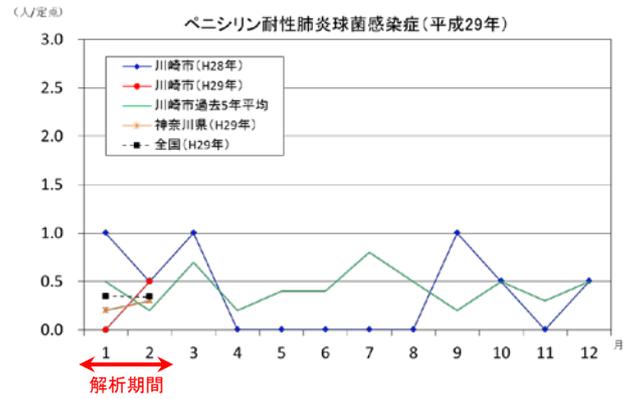
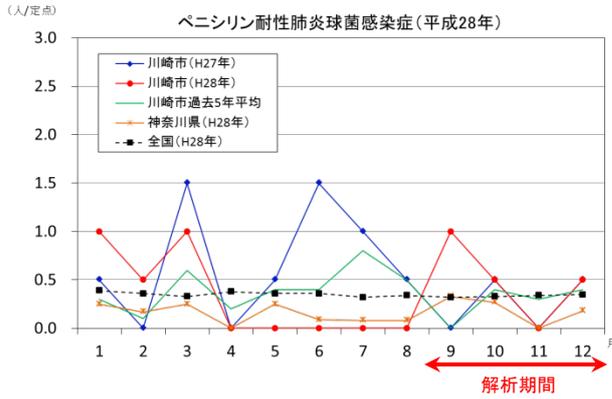




# ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.42 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.40 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

